

事業所名	feel小久保	支援プログラム	作成日	2024年4月1日
法人(事業所)理念	○子ども・保護者・関係者が気軽に相談できる心のよりどころに ○今すぐできる具体的な支援を提案する(信頼関係ができてから)			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者との信頼関係作りを構築する。 ・子どもの言葉にそのまま反応せずに、なぜその言葉を使ったのかに目を向ける。 ・子どもが選択して自己決定ができるようにする。 ・子どもが楽しいと感じ、気軽に安心して話をしたり、過ごしたりできる場所・人になる。 ・発達検査や行動観察を通して、個々の子どもに合った言葉がけや生活支援を考える。 ・保育所等に訪問して、子どもの支援方法や相談活動を行う。 ・発達障害だけでなく対人関係が苦手等、精神面での困難さがある子どもにも対応する。 			
営業時間	★平日 午前の部 10時30分から13時45分 午後の部 13時15分から16時30分 ★土曜日 9時00分から13時00分	送迎実施の有無	あり(なし)	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でできるように、発達段階に応じてスモールステップで支援していきます。身辺自立に必要な体幹や手先の運動など一人ひとりに合ったプログラムを実施していく中で『できた』という自信に繋げ、『自分でやろう』という意欲を育てていけるようにしていきます。健康教育プログラムを実施することで、自分の健康に関心を持ち、病気の予防に必要な活動を進んで行う力や不調を感じた時は伝えられる力などを養っていけるようにしていきます。危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動を知ることや、安全に気を付けて行動ができる力が身に着く、SSTプログラム(ソーシャルスキルトレーニング)も実施しております。また、就学に向けて生活スキルや社会的なマナーを身につけ、スケジュールや時間の管理・調整ができるようにしていきます。見通しをもって活動できる力を養っていくために、一人ひとりに合わせたタイマーを使ったり、スケジュールボードなど視覚支援を使ったりなど、環境調整を行っていきます。		
	運動・感覚	椅子に座って話を聞くことや箸を使って食事するなど日常生活で行う動作は、目から見た情報と体の動きを協調させたり、左右の手の動きを協調させたりする感覚の協調を身に付けていくことが必要となります。身体の動かし方に必要な力を養うために、粗大運動や微細運動を取り入れた様々なプログラムを実施しております。運動プログラムでは、散歩、体操などの有酸素運動やサーキット遊びなどの体のコントロール能力を高める運動、ピーナッツパルーンなどのバランス感覚を養う運動、リズム遊びなどの協調運動を行っております。プログラムの中で走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを取り入れ、楽しみながら粗大運動を行うことで体のコントロール方法や体幹を養っていけるようにしています。そして発達段階に応じ、型はめやパズル、紐通し、粘土など手先を動かす微細運動に取り組むことで感覚統合を養い、集中力や手指の巧緻性(器用さ)に繋がるよう支援していきます。また自分で声の大きさに気づき、調節することができたり、周りの音が大きいと感じた時に自分で調節することができたりする力を養うなど、聴覚・触覚・味覚等の過敏や鈍麻に応じたプログラムも実施しております。		
	認知・行動	SSTプログラムでは<こんな時はどうしたらいいのかな?>などの課題に取り組み、具体的な方法を考えることで、自分と他者との区別がつけやすくなり、場面に合った理解や情報の処理のしやすさに繋がるようにしていきます。季節のイベントや公園遊びなどの外出を通して、四季を感じたり、外出での楽しみや注意することを学んだりします。また、片付けや座って課題や作業に取り組む練習、必要なときに我慢することや相手の話を聞くことなどを身につけていきます。視覚や聴覚などの感覚を活用し、必要な情報を収集して、認知機能の発達を促すよう、新版発達K式検査やWISCなどの検査結果を通して、ビジョントレーニングや、数、時間、カレンダーなどの課題に取り組んでいます。		
	言語コミュニケーション	一人ひとりの発達に合わせた言語プログラムを実施するためにまずは信頼関係を築き安心できる人や場所になるために関わっていきます。その中で『伝えたい』『知りたい』などの気持ちを育み、安心して自分を表現できる中で『気持ちや伝わる喜び』が感じられるようにしていきます。また、好きなものや興味があるものからアプローチしたり、リズム遊びやオノマトペカード、インタビューごっこなど、一人ひとりにとって必要な力を養うためのプログラムを考え実施したりすることで、発語や語彙の獲得、やりとりをする力などに繋げていきます。SSTプログラムの<アサーショントレーニング>では、自分も相手も心地よい言い方を考えることで、お互いを尊重しつつ、自己表現できることを目指し、自主性を大切にしたいコミュニケーション能力の向上に繋がっています。また、ことばによる表現や理解が難しいお子さまには指差し、身振り、サインなどの活用、コミュニケーション機器の活用をしております。		
	人間関係社会性	触れる・話す・聞くといったコミュニケーションを通して、信頼関係を築くことを大切に、担当支援員との信頼関係をベースに他の支援員やお友だちとの関係づくりを促していきます。あそびや様々な経験を通して、一人ひとりの気持ちに寄り添いながらお友だちとの関わりに繋げていき、集団活動に必要な力を育てていきます。発達段階に応じて、お友だちとの関わり、挨拶、順番を待つ、必要なときにがまんする、相手の話を聞くなど 対人関係、社会的なルールについて学べるように支援していきます。SSTプログラムでは、人間関係に関する基本的な知識(お友だちとの遊び方や言葉遣いなど)、相手の思いを理解する方法(相手の言葉や表情、身振りから思いを読み取る方法)、自分の思いを伝える方法(自分の要求や感情を適切に表現する方法や感情のコントロール)、問題解決方法(困ったときやケンカをしたとき)を身に付け、社会性を養っていけるよう支援しています。		
家族支援	家庭での困り事について、ご希望に応じて、カウンセリング等(家族支援、子育てサポート・関係機関連携)を月一回程度継続して行い、療育内で上手くいった取り組みや工夫、本児が興味を持ったものについてご家庭でもご利用いただけるように共有する。	移行支援	必要に応じて相談支援事業所と連絡を取り合ったり、訪問支援を活用しながら、上手くいった工夫や負担を軽減する方法等、保護者を通して保育所等と共有したりします。	
地域支援・地域連携	幼稚園、保育所、小学校、相談支援事業所、病院、こどもセンター等、必要に応じて連携しています。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●MTGで子どもの情報共有を行い、話しあったことを議事録に残し、いつでも確認できるようにしています。 ●4事業所の所長会議、管理職会議を実施し、法人としても同じ方向を向いて職場環境作りをしています。 ●新人スタッフが困った時だけでなく、日常的に会話をする機会を持てるようにメンター制度を取り入れています。 ●事例検討会や発達検査などの内部研修を年に5~6回以上行い、スタッフがスキルアップをできる環境を整えています。 ●希望により時短勤務(7時間勤務等)をすることができ、育児や介護等による勤務時間の調整を行うことで仕事と家庭のバランスを取りながら、仕事を継続できる環境を整えています。 ●簡単なゲームや制作などを通して、スタッフ全体がお互いを知り、チームワークを高めることを目的として、チームビルディング研修を2か月に一度行っています。 	
主な行事等	月ごとにクッキングや公園遊び、スライム作りなどのイベントを行っております。季節のイベントではお花見やプール遊び、秋祭りなど楽しめる活動を準備しております。また、保護者向けの研修&交流会を学期ごとに行っております。			